

目標達成計画

作成日: 令和 3 年 6

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた、より良いケアを目指して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組
1	1	理念の共有と実践	理念である「心で通じる共想いケア」を念頭に置き「私たちは生きるを支えます」見る目、気づく目、予知する目、みんなで守ろう明るい笑顔…を目標に実践していく。	一人ひとりにあった、ケアを心よりオリジナル仕事ブックを参考に、針、行動指針を周知し、理念を、より良いケアを目指して実践していく。
2	2	事業所と地域とのつきあい	コロナ禍、地域との交流が出来ていなかったが、当施設を理解して頂けるよう、町内会、自治会と連携を取り、地域に根付いた施設を目指していく。	町内会などの行事などに参加し、カフェを通して交流を図っていく。
3	13	職員を育てる取り組み	全職員、オンラインセミナーを通してより良いケアを目指し学びを深める。	全職員、法廷研修をeラーニング機会を作り、職員に適したオンラインで学ぶ機会を作る。
4	52	居心地の良い共用空間作り	ホール(共有スペース)を、居心地が良い楽しめる場を作る	ホール内で季節感を楽しみ味にし、各居室の入り口に花を飾り、真を飾るなどして自分の居室に工夫する。入居者様が自場を作り上げていけるよう支援
5	6	身体拘束をしないケアの実践	身体拘束等の適正化の為の指針を職員間で周知しeラーニング研修を行い身体拘束ゼロを目指す。	運営推進会議で会議を行い、等を通してスタッフ間、話し、自分の業務を通して何が身体なかるかを意識して周知する

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。